
夜の月の零時～ラジオ、TV的な？～

夜月 零

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夜の月の零時〜ラジオ、TV的な?〜

【Nコード】

N3346BA

【作者名】

夜月 零

【あらすじ】

ラジオ?TV?的なを書いてみました!!

みなさんのリクエストお待ちしております!!!

あけまして、はじめまして。

あけましておめでとうございます!!!!!!

夜月です。夜月 零です!!!!

これからラジオ?TV?的なものを書いていこうかなあ~と思って
います(^^)ノ

さっそくですが、自己紹介をしましょうか、

もちろんパーソナリティの夜月ヤツキ 零ゼロ【男のほう】ですが、一人じゃ

さびしいのもう一人!!!!

親友の朝月アサツキ 悠くんユウでお送りしていこうかなって思います。

え?何をするかって??

毎回ゲスト(夜月の書いたもしくは、リクエストでほかの作者さん
のキャラ)をお呼びして、

みなさんからもらうお悩み、相談などをキャラクターならではの解
決方法をお話したり、

普通にくだくだなお話をしたり、など色々やりたいと思っております。

メッセージをぜひぜひお待ちしております!!!!

メッセージ内容は、何でもいいです。

匿名希望の人は匿名でと教えてくださいますと約束し
ます!!!!

さ、さっそく始めましょうか、

零「ども、夜月です。」

?「こーにちわ!朝月 悠です。初めまして!!!!これからよろし
くね!」

零「はいはい、とってもいじりがあるのやつなのでそこんとこ

るもよろしくだな、」

悠「ちょっ／＼（。ロ／＼）」

零「そんなことはほつといて、さ、始めるか！」

悠「…ま、いいか、じゃ、ゲストを紹介しましょう、今回のゲストは、

Cross Guardians？

四つの国の物

語のアリアちゃんと夜さんですー！！」

アリア「こんにちはー！」

夜「こんにちは、」

零「こんにちは、最初はアリアさんと夜が来てくれましたー！！」

悠「ぱちぱちぱちー！！」

零「はい、このむさつくるしいところによっこそー・・・」

アリア「いえいえ、新鮮ですよドラマ以外ここに出るのは、逆にうれしいですー！！」

ちなみに私が書いている小説のキャラはみんな役者さんということでお送りしているつもりです。

夜「そうだな、一応気になったんだが、何で急にラジオ？TV？的なのはじめたんだ？」

零「あつと、あのー、・・・」

悠「あ、それ僕も気になった！何で？？」

零「それはその…俺が小説を出すのがおそいのでそれまでラジオ？
TV？的なので、

楽しんでもらえたらなあって…」

夜「逆効果じゃないか？」

夜「はい、よくかんがえたらそうなんですけど・・・いいかなって」

アリア「まーまーいいじゃないですか、ささ、本編に参りましょう

」

零「ありがとう、ありあさん（*^|^*）」

夜「本編って何するんだ？」

悠「はいはいそれは僕が！最初なのでゲストの私生活などの細かな
お話をしていこうかなあって思います」

零「さつそくですが、みなさんはどんな私生活をしてるんですか、」

夜「俺は、」

零「夜はいいや、」

夜「何で!？」

零「お前は知ってるから」

悠「はいはい、すみませんねえ…皆さんは知らないでしょうが」
応、

零と夜は仲良しなんですよ、すみませんわかりずらくてねえ」

アリア「そんなこと言わずに、聞きましょう、」

悠「ほらほら、ゲストにフォローされちゃった…」

零「……（ーッ）」

ガツンッ

悠「痛っっ！！痛いよっマイクでたたかないで…」

夜「おい、進める気はあるのか？このラジオは？？」

悠「多分…？」

零「心配なく！いつもこんな感じで進めていこうかって？」

夜「友人として心配だな…」

アリア「そうですね、」

悠「大丈夫ですよ！！」

カンペ【アリアさん、夜さん、もうすぐ出番です！！】

アリア「えーもうですか!？」

夜「もうか・・・、」

悠「じゃ、最後に宣伝を!!」

アリア「はい、私たちが演じる C r o s s G u a r d i a n
s ? 四つの国の物語

をドーぞよろしくお願いします!!」

夜「いよいよ盛り上がってきたので、これからもよろしくな!では、
」

零「はい、今日のゲストの C r o s s G u a r d i a n s
? 四つの国の物語

の夜とアリアさんでお送りしました!ありがとうございました
「!!」

悠「また来てねえ!!」

タツタツタツ 。

悠「行っちゃいましたねえ、」

零「行っちゃったな、あ、そうそうお知らせが!」

悠「何でしょう?？」

零「なんと次口ケらしいぞ!」

悠「まじで！？で、どこ行くの??」

カンペ【遊園地です。】

零「えーと、遊園地だってさ、」

悠「マジで！？で、ゲストは??」

零「それはまだ分からないそうだが、」

悠「そうなんだ、あ、僕もお知らせがあるだった。」

零「なんだ？」

悠「全国の小説家になろうの作家さん、出してほしいキャラがありましたらメッセでお送りください!!」

宣伝はもちろんします!!ってカンペに…。」

零「あ、アレ書いたの俺だ、」

悠「あーだから字きつたねえのか」

零「…うるさい(ー」

ボカボカツ

悠「痛っつい!!だからマイクは殴るもんじゃなああああああ
い!!--!!」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3346ba/>

夜の月の零時～ラジオ、TV的な？～

2012年1月8日18時47分発行